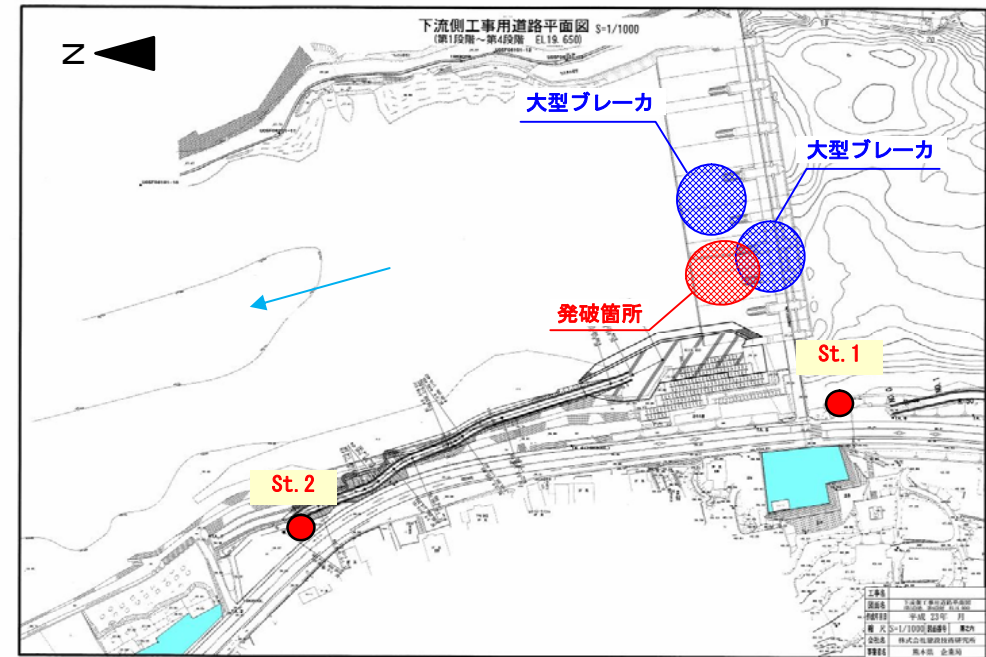


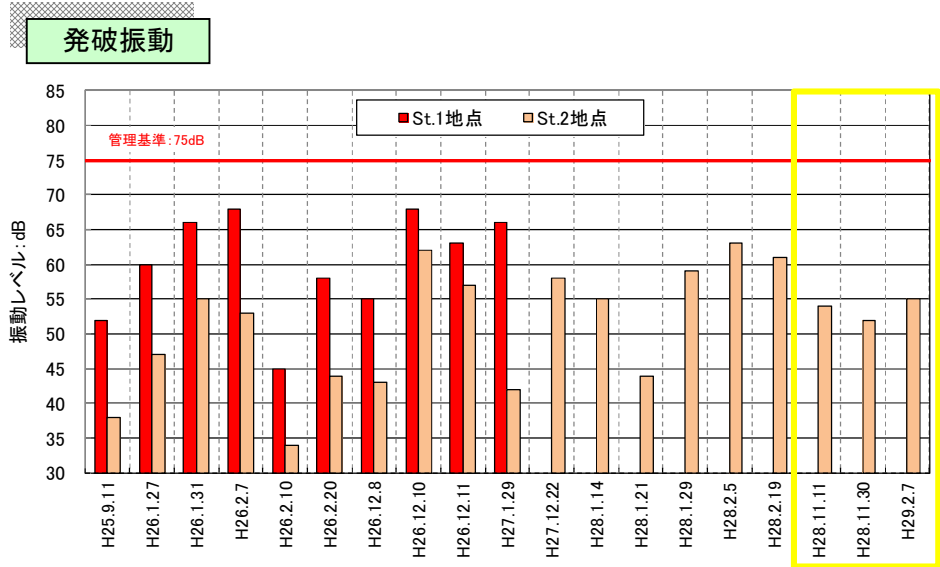
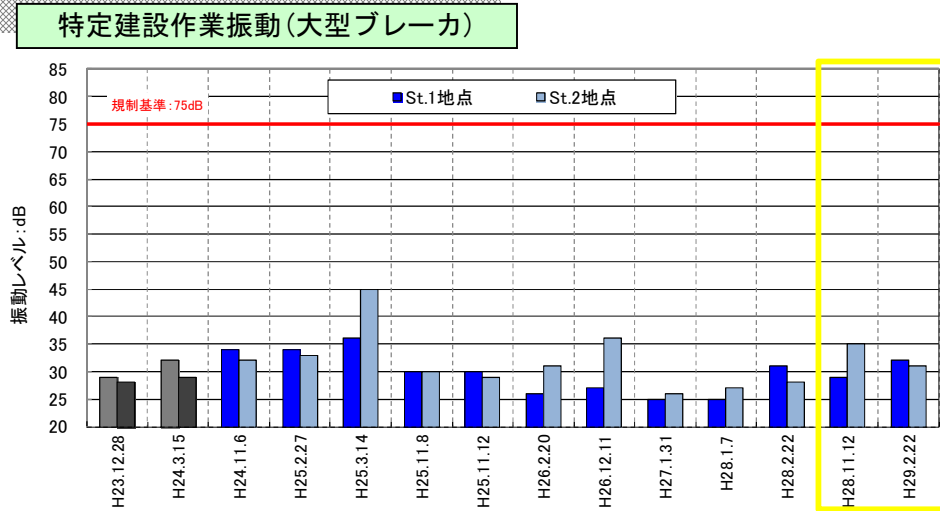
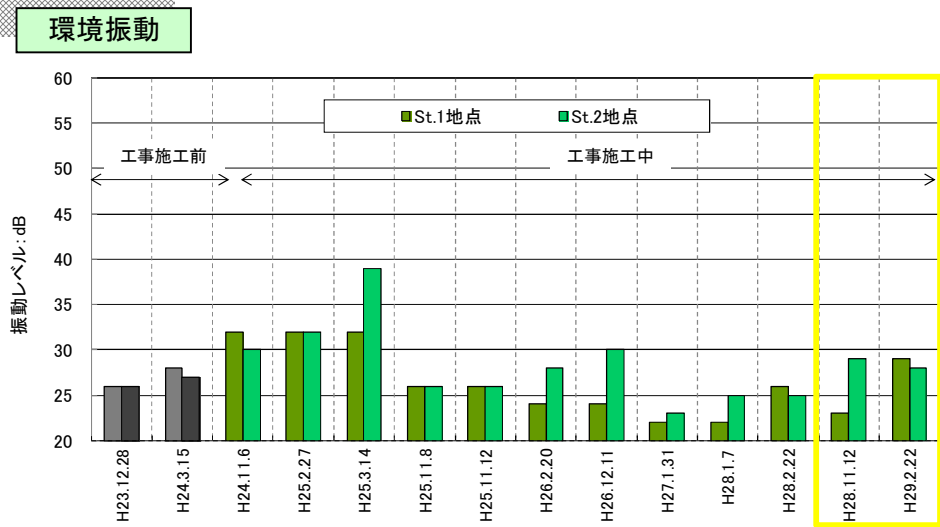
3) 振動

【参考資料 I -267 参照】

評価項目	視点	平成 28 年度の調査結果概要	評価概要
工事振動の影響	・ 工事前後の比較 ・ 振動規制法との照合 ・ 火薬学会規制値との照合	・ 環境振動は工事施工前 (H23 年度) が 26～28dB、工事施工中 (H28 年度) が 23～29dB ・ H28 年度の特定建設作業振動 (大型ブレーカ) は 29～35dB ・ H28 年度の発破振動は 52～55dB	・ 環境振動は、工事施工前後で環境騒音に大きな変化はみられない。 ・ 特定建設作業振動は、基準値 75dB を下回る値であった。 ・ 発破振動は、管理値 75dB を下回る値であった。



調査実施日	調査対象		調査地点	備考
	環境振動 (6:00～22:00)	建設振動 (対象工程)		
H23.12.28	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.3.15	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.11.6	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.2.27	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.3.14	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.9.11	—	発破	St.1、St.2	試験施工
H25.11.8	○	鋼矢板打設	St.1、St.2	特定建設作業
H25.11.12	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H26.1.27	—	発破	St.1、St.2	
H26.1.31	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.7	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.10	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.20	○	構造物取壊し、発破	St.1、St.2	特定建設作業
H26.12.8	—	発破	St.1、St.2	
H26.12.10	—	発破	St.1、St.2	
H26.12.11	○	構造物取壊し、発破	St.1、St.2	特定建設作業
H27.1.29	—	発破	St.1、St.2	
H27.1.31	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H27.12.22	—	発破	St.1、St.2	
H28.1.7	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H28.1.14	—	発破	St.1、St.2	
H28.1.21	—	発破	St.1、St.2	
H28.1.29	—	発破	St.1、St.2	
H28.2.5	—	発破	St.1、St.2	
H28.2.19	—	発破	St.1、St.2	
H28.2.22	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H28.11.11	—	発破	St.2	
H28.11.12	○	構造物取壊し	St.2	特定建設作業
H28.11.30	—	発破	St.2	
H29.2.7	—	発破	St.2	
H29.2.22	○	構造物取壊し	St.2	特定建設作業



現地状況写真（構造物取壊し）



現地状況写真（発破）

平成 27～28 年度の発破に関しては、St. 1 地点が発破箇所から 100m 範囲内にあり、作業員を含めた周辺住民等は避難することとなっているため、評価は St. 2 地点のみで行った。